

臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所

先生各位

平成 23 年 6 月

A-11-11

検査内容変更訂正のご案内とお詫び

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、「A-11-08」発検査内容変更のご案内でお知らせ申し上げました様に、5月6日ご依頼分より、「副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト」の測定方法を全自動化学発光免疫法(CLIA)に変更させて頂きました。

この度、再度n数を増やし採血当日測定で、新測定方法(CLIA)と旧測定方法(EIA)との相関性を検討致しました所、約50%測定値が上昇する事が判明致しました。

誠に申し訳ございませんが、「お知らせ」文中の「備考」欄の相関検討結果を下記内容に訂正させて頂きたくご案内申し上げます。

先生方には、大変ご迷惑をおかけ致しました事深くお詫び申し上げます。

何卒ご了承賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 実施日 平成 23 年 5 月 6 日(金)ご依頼分より

◆ 訂正内容

	訂正(再検討結果)	「A-11-08」発お知らせ
新(CLIA)法と旧(EIA)法との相関	<ul style="list-style-type: none">対象検体 : n=71対象検体測定範囲 : 9~610 (pg/ml)相関性 (y : 新法, X : 旧法) $y=1.477X+9.68$ $r=0.997$ y 平均 : 232.1pg/ml, X 平均 : 150.6pg/ml	<ul style="list-style-type: none">対象検体 : n=20対象検体測定範囲 : 15~267 (pg/ml)相関性 (y : 新法, X : 旧法) $y=1.07x+28.87$ $r=0.96$ y 平均 : 157.5pg/ml, X 平均 : 120.2pg/ml

以上

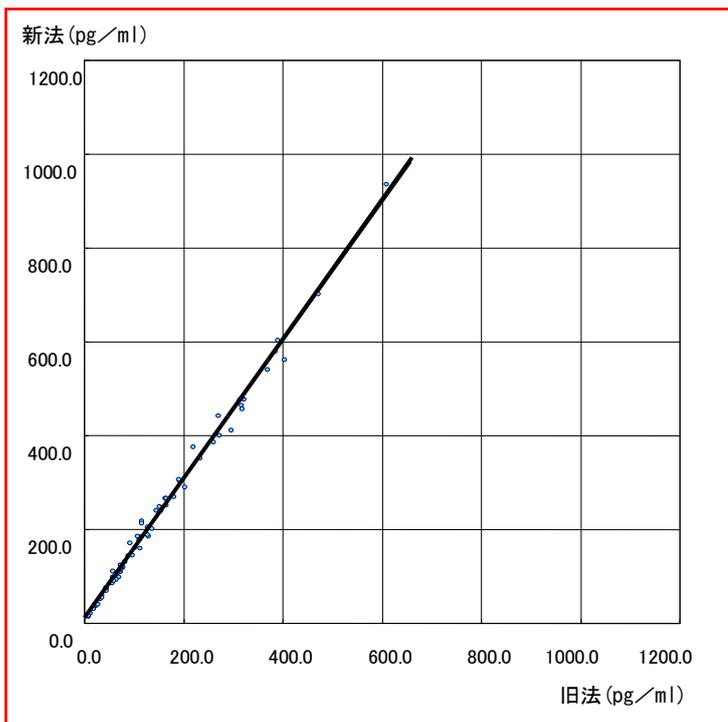
【参考資料】

新法 (CLIA 法) と旧法 (EIA 法) との相関性

< 訂正 (再検討結果) >

$$y = 1.477x + 9.68$$

$$r = 0.997 \quad (n=71)$$



< 「A-11-08」 発お知らせ >

$$y = 1.07x + 28.87$$

$$r = 0.96 \quad (n=20)$$

